

御三家の筆頭、尾張徳川家のお宝を収蔵している名古屋市の徳川美術館に行ってきた。世界的に有名な国宝、源氏物語絵巻“を”をはじめ、收藏品はなんと国宝9件重文46件！ 御三家は、世継ぎが産まれなかった時に困らない様にしたシステムだ。將軍家に継承者を出す役割を担う。

御三家とは、尾張・紀州・水戸であるが、水戸は家格が低く継承権はないとされた。

15代慶喜は家格が低い水戸藩だったが、一ツ橋家に養子に行ってから將軍になった。

8代將軍吉宗が御三家からの初めての將

今日 つれづれ



神戸 睦史
(ハウゼコ)

川家・清水徳川家だ。仲の悪い尾張徳川家に、継承させない為のシステムだったともいわれている。

もともと紀州徳川

軍で、その後吉宗は、家康が御三家を作った様に、自分の息子を使って御三卿を作ったのが、一ツ橋徳川家・田安德

家は、徳川家康が隠居していた駿河藩が移封されたものであり、家格は高いとされてきた。將軍の1〜7代は

本家。8〜14代は紀州家。15代が一ツ橋家。家康には、11人の息子と5人の娘がいた。2代將軍秀忠(3男)の子孫が六代。御三家筆

頭の尾張徳川家(9男)は無し、紀州徳川家(10男)の子孫が七代、水戸徳川家(11男)の子孫が一代、將軍になった。ということ、なんと本家よりも10男の紀州家の方が將軍を多く輩出しているという事か！ 暴れん坊將軍の深慮遠謀なのか…。